

重点調査項目 道路、河川及び橋りょうに関する調査
発言項目 除雪体制の強化について
（発言主旨）異常気象に対応した除雪体制を強化する必要がある。一方、これを担う機械やオペレーターの数が減少していることから各種補助金の増額を求めた。
（理事者との応答）概要
<p>Q 機械台数が昨年に比して減少している。事業者が車両を持たなくなる一方、市保有車が増加する要因をどのように捉えるか。</p> <p>A 委託業者は、担当区域の除雪を行うのに必要な車両台数を確保して除雪業務に参加しているが、グレーダーや除雪トラックなどの除雪専用車両は、公共事業の減少などにより、車両更新を行わずに廃車とするケースが出てきている。リース業界においても一定数は確保しているものの、夏冬を通しての需要が見込めないため、持たなくなってきた。このため、委託業者が確保できない車両を市が購入して、委託業者に官貸車として貸し出している状況である。</p> <p>Q 除雪事業者への委託料の仕組みと妥当性を伺う。</p> <p>A 除雪車両装備品の、委託費の算出においては、日本建設機械施工協会の「建設機械等損料」から「除雪機械運転費」、「機械器具損料」として計上している。機械器具損料は、除雪機械本体の機械損料、除雪時に装着している汎用機器類の損料、タイヤ損耗費を計上しており、除雪作業に使用する機械損料費は妥当と認識している。</p>

重点調査項目 学校教育に関する調査
発言項目 教育基本計画の点検・評価について
（発言主旨）点検・評価の方法について、一方的な評価となっている。広く意見を聴取すべきである。また、教育を数値で測ることに限界があることから評価法の是正を求めた。
（理事者との応答）概要
<p>Q 教育基本計画の点検・評価について、学校教育に加えて社会教育、また、関係部課等の取組みが渾然一体となった評価はわかりづらい。また、数値に偏る評価は学校教育の執行状況を的確に反映するには限界がある。評価、報告について一考すべきと思うがどうか。</p>

A 学校教育や生涯学習分野を個別に評価するのではなく、個々の展開方策ごと、両部の取組みや成果を記載することで、教育基本計画の進捗管理を併せて行っているところ。主な取組みの内容について、写真を使用するなど、なるべくわかりやすい工夫をしている。今後見る側の視点に立って、引き続き配慮してまいりたい。

Q 数値に偏る例として復帰率のみを問題とする姿勢は不登校生徒や保護者を一層追い込みかねず、日々指導に携わる現状も反映していない。相談体制の充実を測るような指標にすべきと思うがどうか。

A ご指摘の復帰率については、基準と実態の把握に難しさはあるものの、数値による成果指標として、全小中学校の取組目標やできる指導に向けた取組指標としてきた経過がある。少なくとも今期中は指標として維持して参りたい。

学校教育に関するその他の質問

(1) 小中学校適正規模の確保に関する計画について

意見交換会の状況と前期対象校の選定スケジュールについて

(2) 教職員の長時間勤務の解消について

「学校における働き方改革に係る緊急提言」による現在の取組みについて

【重点調査項目における発言一覧】

① 道路・河川及び橋りょうに関する調査

・市道の整備について（特に農村道） ・除雪体制の強化について

② 住まいに関する調査

・改正住宅セーフティネット法の施行と空き家対策

③ 上、下水道の維持管理に関する調査

・水道管の凍結対策について ・管路の長寿命化、マンホールのカラー化

④ 学校教育に関する調査

・教育基本計画の点検・評価について

・小中学校適正規模の確保に関する計画について

・教職員の長時間勤務の解消について

・道徳科の教科書採択について ・通学区域の見直しについて

⑤ スポーツに関する調査

・4館連携事業について

・フードバレーマラソンについて

・動物園の管理について